



若手経済人の集まりである（公社）仙台青年会議所（以下仙台JC）の2021年度理事長に菅原啓太氏が就任する。21年度の抱負や、新型コロナが猛威を振るう中で、どのように新しい取り組みを実施するのかについて聞いた。

——2021年度理事長就任に当たつての所感をお願いします。

菅原 21年は仙台青年会議所創立70周年を迎えるので、責任の重みを感じています。これまで多くの諸先輩方が仙台JCをつくりあげられてきて、たくさんの方にお支えいただいて私たちも活動できています。来年一年を素晴らしい年にするだけでなく、より良い形で次に続く方にバトンタッチできるような活動を行っていききたいと思っています。また21年

Interview

Stand Out! ~次世代がより豊かになる仙台へ~

公益社団法人仙台青年会議所
2021年度理事長予定者

菅原 啓太氏

すがわら・けいた 1988年生まれ、仙台市出身。中央大学経済学部卒業。2014年に清月記入社。現在は専務取締役。仙台青年会議所には15年に入会。副理事長などを経て、2021年1月から理事長就任予定。

度は、174人でのスタートとなります。

——スローガンは。

菅原 「Stand Out! ~次世代がより豊かになる仙台（まち）へ~」としました。和訳すると「傑出した「飛び抜けた」という意味です。私たちは、地域の経営者の皆さまから「若いんだから果敢にチャレンジしなさい」「失敗を恐れずにどんどん挑戦しなさい」と仰っていただけること

が多いですし、応援してくださる方が大勢いらっしゃると思います。そこで、恐れを気にせず、いろいろなことにチャレンジして、地域でも飛び抜けた人材になろうという思いを込めて、スローガンとしました。挑戦する青年世代が地域にいることは、仙台にとっても良いことだと思います。私たちはその存在になるべく、良い意味で目立っていきたくと思っています。

——20年は新型コロナ禍による影響も大きかったのでは。

菅原 新型コロナのパンデミックの影響は深刻で、長期的なものになっています。仙台JCでも花火祭などのイベントを中止せざるを得なかっただけでなく、仙台JC会員の中には社業に大きな影響を受けている人も多いのが現状です。私はまず会員をしっかり守ることが大事だと考えています。その上で、組織の在り方の見直しや新しい運動の展開、今までやらなければいけなかったことに取り組み、自身の行動を変える機会が来ていると感じています。

菅原 21年の取り組みについては、まず恒例となつている仙台七夕花火祭ですが、21年は実施する予定です。とはいえ状況が刻一刻と変化しているので、柔軟に判断して



牛たん焼きを
仙台名物にしたお店

味の牛たん



いきます。行政や消防、警察、地域の方々と連携を密にして、現在の暗闇のような世相を明るく照らす花火祭にしたいと思っています。

また、新しい事業としては、「国際アカデミー」です。これは、日本青年会議所が主催するもので、世界約80カ国と国内の青年会議所のリーダー合わせて約180人が集まって、合宿形式で相互理解やリーダーシップ、チームビルディングなどを学ぶものです。21年は仙台が開催地として選ばれました。仙台JCでは、70周年特別会議を立ち上げ、同アカデミーの実行組織として動きまします。日本青年会議所と協議しながらどのような形で実施するかは考えますが、通常開催になれば、防災都市仙台や仙台の伝統文化の発信ができるので、仙台の魅力発信につながると考えています。

また、青少年育成や地域活性化の事業についても、各委員長が中心となつて進めていきたいと思っています。

——抱負については。

菅原 青年世代が主体なので、もっと若い世代からモデルとされるような組織であり続けたいですし、会員の皆さまにとつても「入つていて良かった」と思ってもらえるように事業活動を頑張りたいです。